

令和7年度第1回島田市文化芸術推進協議会 議事概要

- 1 日時 令和7年10月17日（金） 午後1時30分～午後3時20分
- 2 場所 島田市役所 304会議室
- 3 出席者
 - (1) 委員 松本委員、森澤委員、岡村委員、片川委員、榛葉委員、高橋委員、沼田委員、松永委員
 - (2) 事務局 文化振興課 野村課長、石間課長補佐、大野主事
 - (3) 傍聴者 2名
- 4 概要
 - (1) 開会
 - (2) あいさつ
 - (3) 報告事項
 - ア 島田市文化芸術推進計画（第2期）の策定について
 - イ 第2期計画の策定体制について
 - ウ 第2期計画の策定組織について
 - エ 第2期計画の策定スケジュールについて
 - (4) 議事
 - 協議事項
 - ア 第2期計画の方向性について
 - イ 市民意識調査、文化団体意識調査（案）について

【第2期計画の方向性について】

- 委員：第一期に策定したメンバーで2期計画を作成できることはよかった。ただ、実際に文化活動をしている方（陶芸祭、ぼんぼり祭等）の意見交換、意見徴収の機会があれば特色ある計画になるのではないかと。主催者側の目線と外部からの目線としっかり見ていく必要がある。
- 委員：以前協議会で島田市文化プログラム支援費補助金の審査会を兼ねていた時があり、事業の内容について精査するため、プログラムの主催者にヒアリングを行う機会があった。
現在、補助金は廃止されているため文化事業実施団体と直接話す

機会がない状況となった。話す機会を作る必要がある。

事務局：次回以降、直接話をする機会を検討していく。

委員：第1期計画を基本にして第2期計画を策定していくのか。

事務局：基本方針は踏襲していき、さらに具体的な内容を追記できればと考えている。

委員：前期の計画の中で、2期計画策定の際に特に検討する部分を明示していただきたい。

事務局：各課の担当が何をしていくべきか、という指針が見える内容にしていきたい。

委員：今の計画は「地域資源活性化」をメインに据えた計画である。今回は、初めて文化行政に携わっていく職位にも方向性がわかるものにしていきたい。今後の島田市の将来像を見据えた計画を意識したい。

委員：文化施設の整備について盛り込むことはよいと思う。改修＋維持管理（指定管理含む）を市民のためにしっかりできるような計画にしていきたい。

また、若い世代への文化の伝え方など、学校を絡めた文化振興についても取組みたい。

委員：会館によって、舞台技術者の考えで市民に対する対応の善し悪しが発生してしまう場合がある。

委員：過去に空港開設を活かした文化施設の活用方法を具申したが採用されなかった。文化協会が開催する吹奏楽フェスティバルではおおりの座席数が不足しているため、他校の演奏をすべて聴くことは難しい。そのため、1,500席規模の文化施設はやはり必要であると考えている。花火大会の時も、金谷の坂の花火がよく見える場所に目隠しをして見えないようにしている場所がある。良いものを活かしきれていない。

もう少し発想の転換が必要だし、島田だけでなく日本全体の文化転換の発信源になるような形を作りたい。

委員：神戸では空港の国際化に伴い様々な施設改良を始めている。計画の内容として文化の意味や範囲を幅広く考え、含めていく必要がある。

委員：前計画の指針を市民が実感しているのかを数値以外でも出したい。子どもの作文が心に刺さるように、直接の声が一番届く。市民の声をそのまま計画にも載せていくようにもしていきたい。

委員：「熱量」があるか否かが一番大事。子どものためにいろんな人の助けを借りつつ、学校で文化を体験

できるようにしたい。

委員：部活動の地域化により、例えば吹奏楽だと中古楽器店に楽器が売られる事態も他市では発生している。

今後の文化活動をどのように考えていくかも大事。

委員：第1期が7年で第2期が8年なのはなぜか、スパンを短くする必要があるのでは。

事務局：第一期計画にて「第2期計画を8年スパンのものとする」と明記されている。行政のスパンを含め、4年周期も考えたが、計画策定スパンも含め8年とした。

委員：「文化振興課の事業に関する記載」とは、どのような内容が不足しているのか。

事務局：現在文化振興課で実施している内容が計画の中に入っていない。
(イベント関係・市民への文化振興・市民活動につなげていくこと)。その方向性を明記していくことで、考え方を引き継いでいきたい。

委員：現状計画に書かれていないことをやっている状況か。

事務局：庁内部署改変もあり、現在の状況になっていると考えている。

委員：当時記載した詳細事例は部局で作成したため、そこは了承してほしい。

委員：松永委員の意見から、普段からプレイヤー側と部局側で話をして欲しい。

委員：現在市内で実施されている文化イベントをさらに市民に周知できるように場所があればよいと思う。
前回も初期の熱が時を経るごとにだんだん冷めてしまった状態がある。
全体の中でもっと計画を活用していくような状況を作っていきたい。

委員：本当であれば各分野のスペシャリストを作るのがよいが、すぐには難しい。

委員：例えばおおるり東館フリースペースを情報提供スペースにするなど方策は色々ある。

委員：例えば、古民家か空き家の一つ借りて協会を入れるなどを提案したが、当時もうまく伝わらなかった。

委員：前回文化施設の更新についても提言したがなかなか進まない。

委員：指定管理も含め、有料施設としての最低限のレベルをちゃんとやるべきである。

会議室を貸しているわけではなく、専門施設のため、その見極

めはしっかりしていく必要がある。

委員：各委員文化行政に一言ある、そこは踏まえて進めていただきたい。

【市民・団体意識調査について】

委員：もっと大きな目でみて質問をしていきたい。

委員：【市民】「さらに大きな文化施設（ホール）が必要か」という問いが欲しい、アンケートだから具体的にいきたい。

委員：【市民】問6と問9が重複している。

事務局：重複でしたので修正します。

委員：【団体】問4は自由記載のほうが良い、多角的な意見が直接聞ける。（移動手段など）

委員：前回の意識調査との比較ができるように設定している？

事務局：基本はそのとおりにしている。

委員：文化ホールに関する意識調査は前回あったか。（別の市民意識調査）

事務局：特になかった。

委員：文化イベントの中でも屋内と屋外のものがあるが、地域の文化活動のできる場所をもっとピックアップして質問したい。

例：川や駅などで実施できる文化イベントなど

委員：「緑茶化計画」にしては緑が少ない、そこを振興していくような意見を募る質問もあるとよい。

委員：【市民】文化芸術活動に限って質問するのか。各家庭につないできた独特な文化を拾い上げていけるような質問もしたい。

委員：文化のとらえ方は幅広い、「文化・芸術」と「芸術文化」でも意味合いが変わる。

委員：旧東海道石畳復元時の「一人一石活動」も文化の一つ、アイコンを作っていくことも必要になっていく。

委員：eスポーツについても含めてもらえるといい。
ジャンル順についても、マイナーなものからメジャーなものにしていくといい。

委員：例えば髷祭りの髪結い師さんは自身の仕事を文化として回答できないのでは。

そこを拾えるような設問や順番にしたい。（「あなたの得意としていることはなんですか？」など）

委員：ここに書いてあるものが「文化」と思われたいような構成や順番にしたい。

最初に漫画や料理などの気軽なところから並べられるといい。

委員：意識調査は誰にどのような形で実施するか。

事務局：ダイレクトメールで全世帯に流し、フォームで回答する形、世帯全員分回答できるような形にする。

文化団体については文化協会と相談して会員に配布し、フォームで回答してもらうことを検討している。

委員：こどもに対しての意識調査も、設問数は少なくてもいいのでできるといい。(中学・高校生向け)

委員：フォームの送付はQRコードよりもURL でしたほうがよい。

○その他

委員：計画の表紙について、内容にあったものになるよう再検討してほしい。

委員：市民文化祭のポスターの作り方は一つの良い指針になる。

委員：実際の文化イベントの視察やプレイヤーとの交流会は必ず入れたい。(ミニ四駆のイベントなどでもよい)

委員：協議会日程は2～3か月前に提示してもらえると助かる。

委員：人間そのものが文化資源となるため、そのようなものがあるとベストである。

委員：文化はモノよりもコトを意識したほうが良い。